

## 臨床検査・歯科麻酔学

講師	岡安一郎	実施時期 単位数	第2学年前・後期 2単位 (30時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な「臨床検査」および「歯科麻酔学」(局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔、救急蘇生法、ペインクリニック)を理解する。				
授業概要	歯科医療における臨床検査および歯科麻酔について学ぶ。 なお、歯科麻酔学の一領域であるペインクリニックについても、舌痛症や顎関節症、非菌原性歯痛や頭痛を例に、医療面接→診察→検査→診断→管理の一連の流れを紹介する。				
学習方法	講義				
成績評価の方法	期末試験の結果を中心に、授業への参加度を考慮して評価を算出する。 筆記試験90%、授業への参加度10%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「臨床検査」 医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」 医歯薬出版				
履修上の注意	教科書に基づいて講義を進めていきますので、教科書を持参下さい。				
参考書	1) 食文化と歯 石岡 靖 著 口腔保健協会 2) あきらめないで！口から食べること 角町正勝 著 松風 3) 知ると得する歯科麻酔—ようこそ！ 歯科麻酔の世界へ— 大井久美子 著 口腔保健協会				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	大学病院および歯科医院に勤務し、臨床現場の経験を元に講義を行う。				

### 授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	臨床検査	臨床検査の目的と必要性を説明できる。
2	生理機能検査① —体温、脈拍、血圧、呼吸数	バイタルサインを説明できる。
3	生理機能検査② —心機能検査	心電図検査を説明できる。
4	生理機能検査③ —肺機能検査	肺機能検査を説明できる。
5	血液学的検査① —血液の概要と血球の検査	血液の役割と血球検査を説明できる。
6	血液学的検査② —出血・凝固系検査	出血・凝固の過程と関連する検査を説明できる。
7	感染症の検査	炎症を評価する検査を説明できる。
8	肝機能、腎機能の検査	肝機能の検査、腎機能の検査の意義を理解できる。
9	腎機能、糖尿病の検査	腎機能の検査の意義を理解し、糖尿病の検査を説明できる。
10	免疫・血清学的検査、口腔領域の臨床検査	自己免疫疾患の検査、輸血に関する検査、口腔領域の主な検査を説明できる。
11	歯科麻酔	歯科治療における歯科麻酔の役割を説明できる。
12	局所麻酔	局所麻酔について説明できる。
13	精神鎮静法・全身麻酔	精神鎮静法と全身麻酔について説明できる。
14	救急蘇生法	一次救命処置について説明できる。
15	歯科麻酔学まとめ	歯科麻酔およびペインクリニックについて説明できる。